

<b>フルアジナム水和剤</b> <b>フロンサイド水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 石原、ホクサン、一農、日本曹達、 琉産 <b>原体メーカー：</b> 石原産業
<b>成分：</b> フルアジナム〔PRTR・1種〕……………50.0%	<b>性状：</b> 淡黄色水和性粉末45μm以下 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 抗菌スペクトラムが広く、果樹、畑作物などの広範の病害に卓効を示す。
- 植物病原菌の胞子発芽、付着器形成、侵入などの各感染過程を低濃度で阻害する。
- 現在発生している各種薬剤の耐性菌にも、優れた効果を示す。
- 植物体内への浸透移行性は極めて少なく、治療効果もほとんどないが、耐雨性、残効性に優れた高い予防効果を有する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 予防的な散布で高い効果を発揮する。また浸透移行性が極めて少ないので、茎葉の表裏に十分かかるよう、丁寧に散布する。
- 〈小麦〉
- 雪腐大粒菌核病、雪腐小粒菌核病、紅色雪腐病の3種類の雪腐病に有効で、本剤単用で同時防除ができる。
  - 防除は根雪直前に行うのがより効果的。

#### 〈茶〉

- 輪斑病防除に使用する場合は、防除効果の低下を防ぐため、摘採又は整枝当日に使用する。

#### 〈ばれいしょ、たまねぎ、小麦〉

- 少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 適用作物（かんきつ、なし、ぶどう、もも、うめ）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（きゅうり、レタス）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 皮膚感作性を有するため、カブレ等を生じることがあるので、以下の点に注意する。
  - 薬液調製時及び散布等の作業時は、帽子、保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣、ゴム長靴などを着用し、保護クリームを使用する。
  - 降雨時又は樹木が濡れている場合には作業を行わない。
  - 剪定、施肥、摘果、除草、袋かけなどの管理作業をすませてから散布する。
  - 散布後の入園はできる限り期間をおく。特に摘果、袋かけのような作業を行う果樹では、少なくとも7～10日あける。
  - 散布後の入園の際も、帽子、保護メガネ、農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用し、保護クリームを使用する。
  - 散布等の作業後及び摘果等のため散布後入園し作業した後は、直ちに身体を洗い流し、洗眼、うがいをして衣服を交換する。
  - 施設内では使用しない。高温、多湿時の長時間の散布及び作業はさける。
  - 苗床で使用した場合、採苗・定植する際は必ず手袋を着用する。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農業の総使用回数
かんきつ	そうか病 灰色かび病 ミカンサビダニ	1000 ～ 2000 倍	200 ～ 700 ℓ	30 日前まで	1 回	散布	1 回
	苗疫病 黒点病 ミカンハダニ	1000 倍					
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病	1000 ～ 2000 倍		45 日前まで			
	すす点病 すす斑病 褐斑病	2000 倍					
もも	灰星病 黒星病 ホモブシス腐敗病			7 日前まで			
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病	1000 ～ 2000 倍		30 日前まで			
うめ	黒星病	2000 倍		発芽期まで 但し、収穫 60 日前まで			
ぶどう	晩腐病 べと病 枝膨病 灰色かび病			開花直前～ 落弁期 但し、収穫 60 日前まで			
	黒とう病			250 倍			休眠期
キウイフルーツ	灰色かび病 果実軟腐病			1000 ～ 2000 倍			30 日前まで
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病	1000 倍	60 ～ 150 ℓ	根雪前	2 回 以内	種いも瞬間浸漬	3 回以内 (は種前は 1 回以内、は種 後は 2 回以内)
	雪腐小粒菌核病	250 倍	25 ℓ				
ばれいしょ	菌核病	1000 ～ 2000 倍	100 ～ 300 ℓ	14 日前まで	4 回 以内		6 回以内 (種いも浸漬は 1 回以内、植付 前の土壌混和及 び植付時の植溝 散布は合計 1 回 以内、植付後の 散布は 4 回以内)
	疫病	500 倍	25 ℓ				
		800 倍	40 ℓ				
	夏疫病	2000 倍	100 ～ 300 ℓ				
		そうか病	100 倍	—	植付前		1 回
やまのいも	葉渋病	2000 倍	100 ～ 300 ℓ	7 日前まで	4 回 以内	散布	5 回以内 (植付前の土 壌混和は 1 回以内、植 付後の散布 は 4 回以内)
やまのいも(むかご)							4 回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
あ　　ず　　き	炭疽病 灰色かび病	1000 ～ 2000 倍	100 ～ 300 ℓ	21 日前まで	3 回 以内	散布	3 回以内
	菌核病 輪紋病	1000 倍		14 日前まで			
いんげんまめ	炭疽病 灰色かび病	1000 ～ 2000 倍					
	菌核病	1000 倍		14 日前まで			
べにばないんげん	灰色かび病						
ご　　ぼ　　う	黒条病						
にんじん	黒葉枯病						
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病	1000 ～ 2000 倍	25 ℓ	7 日前まで	5 回 以内	7 回以内 (全面土壌 混和は 1 回 以内、苗根 部浸漬は 1 回以内、散 布は 5 回以 内)	
	灰色かび病	500 倍					
	白色疫病	1000 倍	100 ～ 300 ℓ				
	乾腐病	50 倍	—	定植直前	1 回		5 分間苗 根部浸漬
らっきょう	灰色かび病	2000 倍	100 ～ 300 ℓ	14 日前まで	5 回 以内	散布	5 回以内
	白色疫病	1000 倍		収穫終了後 但し、 秋期まで			
アスパラガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病	1000 ～ 2000 倍	—	植付前	1 回	20 分間 苗浸漬	1 回
パイナップル	心腐病	1000 倍	—	植付前	1 回	20 分間 苗浸漬	1 回
食　用　ゆ　り	葉枯病	1000 ～ 2000 倍	100 ～ 300 ℓ	14 日前まで	6 回 以内	散布	8 回以内 (球根瞬間 浸漬は 2 回 以内、散布 は 6 回以内)
	鱗茎さび症	50 ～ 200 倍	—	植付前	2 回 以内	球根瞬間 浸漬	
てんさい	根腐病	1000 ～ 2000 倍	100 ～ 300 ℓ	30 日前まで	4 回 以内	株元散布	5 回以内 (は種前の 土壌混和及 び苗床灌注 は合計 1 回 以内、株元 散布は 4 回 以内)
	黒根病	1000 倍					
			100 倍	3 ℓ / m <sup>2</sup>	移植前		苗床土壌 灌注
茶	炭疽病 輪斑病 網もち病 新梢枯死症 (輪斑病菌による) 灰色かび病	2000 倍	200 ～ 400 ℓ	摘採 14 日前 まで	1 回	散布	1 回
た　　ば　　こ	菌核病	1000 倍	100 ～ 200 ml / 株	大土寄期まで		株元灌注	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
チューリップ	灰色かび病 褐色斑点病	2000～ 4000倍	100～ 300 ℓ	発病初期	7回 以内	散布	7回以内
	球根腐敗病 皮腐病	100～ 200倍	—	植付前	1回	15分間 球根浸漬	
ゆり	葉枯病	2000倍	100～ 300 ℓ	発病初期	3回 以内	散布	3回以内
	鱗茎さび症	100～ 200倍	—	植付前	1回	球根瞬間 浸漬	

作物名	適用病害名	10 a 当り使用量		使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
ばれいしょ	粉状そうか病 塊茎褐色輪紋病	600 g	100 ℓ	植付前	1回	全面散布 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和及び植 付時の植溝散布は合計1 回以内、植付後の散布は 4回以内)
小麦	縞萎縮病			は種前			3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)
チューリップ	条斑病 微斑モザイク病			植付前			7回以内